

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 5年 12月 22日

事業所名 放課後等デイサービス けやきの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0		広さは十分確保出来ている。 室内で運動遊びをする事もできている。
	2	職員の配置数は適切である	11	0		職員一人に対して子ども二人で配置出来ている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	2		現時点で必要とする子どもがいないので 状況に合わせて対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0		モニタリングの結果を共有し 業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	0		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0		定期的に研修を受けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0		普段の会話の中でおでかけ先を決めて 月に一度実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0		子どものニーズに合わせ、日ごとに変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	0		個別活動と集団活動のバランスが取れる様、 子ども達に呼びかけて取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0		送迎の配置等、ホワイトボードとラインで共有が出来ている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0		一人一人記録を残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0		半年に一度、保護者に来所してもらい モニタリングを実施している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	11	0			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	基本的には児童発達支援管理責任者が代表して参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	スムーズに支援ができる様、事前に情報共有が出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	0	定期的にモニタリングを行い、卒園した後も情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	0	小学校卒業で事業所を退所してしまうので、過去に実績はないが、記録は残しているの いつでも対応できるように配慮している。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11	0	公園で会う子どもや地域の子ども達と一緒に遊ぶ事が出来ている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11	0	淀川市役所で行われている子ども部会へ定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	モニタリングの内容をその都度共有出来ている。 いい点・問題点どちらも認識出来ている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	11	0	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	契約時、説明を行っている。 契約内容変更の際、改めて説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	ライン以外にも電話や対面で時間を作っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	当日中に対応を心掛けている。 報告・連絡・相談を徹底。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	毎月会報を発行。 その月の予定等、発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	鍵付きのロッカーにて保管・管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	一人一人の特性に合わせて会話をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	0	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	0	マニュアルをいつでも読める場所にて保管。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	定期的実施。 防災センターの利用。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	研修への参加。 職員同士の監視体制も出来ている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	その日の内に内容をラインでも共有している。